



Piano Recital

村山 卓洋

Takuhiro Murayama

ピアノ リサイタル

ドイツからの風によって

Program

D.スカルラッティ : 4つのソナタ

D. Scarlatti : 4 Sonatas

C.フランク : プレリュード、コラールとフーガ 短調

C. Franck : Prélude, Choral et Fugue

R.シューマン : 森の情景 Op.82

R. Schumann : Waldszenen Op.82

R.シューマン : ノヴェレッテ 嬰へ短調 Op.21-8

R. Schumann : Novelletten Op.21-8 *曲目は変更することがございます

2026年8月8日（土）16:00 開演

奈良基督教会 シオンホール

入場 無料

15時より30分程度の礼拝堂案内があります
(重要文化財 日本聖公会 奈良基督教会礼拝堂)
参加 自由



会場アクセス

Profile 村山 卓洋 Takuhiro Murayama

東京生まれ、6歳よりピアノを始める。18歳で渡独、ミュンヘン音楽大学、またカールスルーエ音楽大学にてG・オビッツ、K・ランダルー各氏に師事。1997年カールスルーエ音楽大学修士課程を修了。イタリアにおける第2回カラブリア国際ピアノコンクールにて1位なしの2位、またドイツ・ドルトムントにおける第6回国際シューベルトピアノコンクールにて第3位入賞。これまでに、園田高広、M・ティポ、L・ホカンソン、E・レオンスカヤ、A・シュタイアー氏らに薫陶を受ける。また、ゲーテとシュタイナーの哲学、教育理念の元に開設されたR・シュタイナー学校の教員資格も取得し、1999年より3年間、ボーデン湖畔のシュタイナー学校にて音楽教師としてドイツにおける新しい音楽教育の実践にも貢献する。

現在、カールスルーエ音楽大学講師を勤める傍ら、ドイツを拠点としてヨーロッパ各地、また数年前より日本にてソロ・室内楽と幅広い演奏活動が続ける。国際的な舞台だけではなく、サナトリウム、病院、老人ホームやチャリティコンサートでの演奏で、聴衆を身近に感じること、彼の音楽家としてのポリシーの一つ。2024年、約10年にわたり公の演奏活動から距離を置いた後、復帰の記念をも兼ねて制作したCD<Lecield'or>をレーベルGENUINより発表、各方面より高い評価を得る。